

令和6年度 第7回 豊田市猿投地域会議 会議録

開催日時	令和6年11月28日（木）	開会	閉会
		午後7時	午後8時00分
会 場	猿投北交流館1階 多目的ホール		
出 席 者	地域会議委員：12人		
	副会長：森田 裕子		
	委員：池田 利雄 梅村 基 木村 久光 近藤 隆光 近田 新平 近田 孝子 辻 直樹 林 邦夫 益田 千恵子 宮川 和正 吉田 幸正		
欠 席 者	5人（梅村 和也 大澤 正利 爾見 富子 田中 則夫 林 美樹 ）		
傍 聴 者	なし		
事 務 局	猿投支所：広瀬支所長、梅村副支所長、岩村主事		
	1 豊田市民の誓い（唱和） 2 会長あいさつ 3 地域課題解決事業の検証 4 令和7年度の地域会議日程について 5 わくわく事業現場確認について 6 情報共有・事務連絡		

■ 議事（要約）

3 地域課題解決事業の検証

- ・事務局が資料に基づき説明し、説明後グループに分かれて、「地域会議評価」と「追加事業の必要性」について協議した。
- ・グループワーク終了後、各グループから以下のとおり協議内容を発表した。

1 グループ

- ・猿投山の登山客が増加しているのは事実である。
- ・籠川については、整備が進んでいるようだが、自然を生かし、構造物の設置は控えめにしたほうがよい。ただし、公衆用便所や水道はしっかりと整備する必要がある。
- ・地元へのメリットがないという意見があったが、猿投町の皆さんで協力して私有地を駐車場として整備し、収入源にしてはどうか。また、飲食については、コンビニで調達するよりも、現在進めているマルシェを先行して実施してはどうか。

2 グループ

- ・籠川健康器具は広く市民に使われていないが、環境学習には、市内の小中学校がバスで来訪している。
- ・猿投山については、駐車場の問題が第一優先ではないか。おいでんバスを活用する方策もある。ガイドブックは設置場所や保管場所を工夫してはどうか。SNSの活用も有

効ではないか。

3 グループ

- ・ガイドブックは、ニーズがあるので評価ができる。
- ・課題は、検討するに足る適正な材料がないため評価ができない。
- ・課題をあえて言えば、集客に伴う駐車場や来訪者のマナーがある。
- ・籠川については、植樹などにより、皆が集える場所になるといいのでは。
- ・農業できる人が減っている。市が土地を取得して、農業をしたい人に貸与してはどうかという意見もあった。

4 令和7年度の地域会議日程について

- ・資料に基づき事務局から説明し、原案のとおり承認された。

5 わくわく事業現場確認について

- ・本徳町まちづくり委員会
上記団体の活動状況を事務局より報告

6 情報共有・事務連絡

- ・事務局から、地域会議員継続について確認、連絡を行った。
- ・また、さなげふれあいマルシェ☆スタート事業の実行委員について地域会議委員のなかで希望があれば参加して欲しい旨の連絡を行った。

(次回の予定)

日 時：令和6年12月26日（木）午後7時から

場 所：猿投北交流館1階 多目的ホール